

命のパスポート

シリーズ144

梅雨入りシーズン 大雨対策を万全に！

梅雨を迎え、大雨が発生しやすい時期になりました。 これから夏にかけて台風、ゲリラ豪雨と、 激しい雨による危険は連続して襲ってきます。

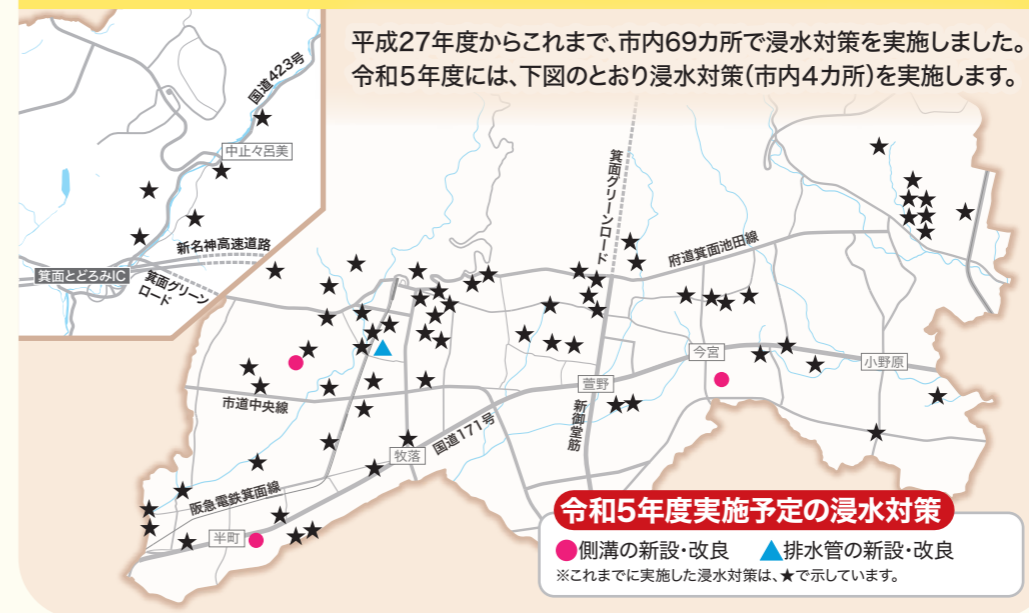
箕面市では、豪雨や台風が相次いだ平成26年に、市内のあちこちで用水路や側溝から水があふれだし、浸水や土砂崩れにより多くの人が避難する事態に陥りました。これを受けて、市では被害に遭った地域(市内17カ所)で緊急的に浸水対策を実施しました。

さらに、抜本的な浸水対策を進めるため、全市的な浸水シミュレーションを行い、平成28年度に市内約50カ所についての「市水防整備指針」を策定しました。この指針に基づき、平成29年度以降は、浸水の危険性が高いところから順次、浸水対策を進めています。また、これに併せて、令和2年度の豪雨で被災した5カ所、令和3年度の豪雨で被災した1カ所についても浸水対策を実施しました。

ご家庭では、家の周りの側溝が詰まっていれば掃除をするなど、できるだけ早く大雨対策を行ってください。

箕面市では

全体の9割以上に当たる市内69カ所で浸水対策を完了しました！
令和5年度は4カ所の浸水対策を実施します



ご家庭での備え、万全ですか？

絶対、これだけは！

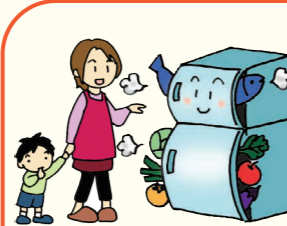
3日分の水・食糧を備蓄してください！

大雨の中を買い物に出かけなくて済むよう、水や日持ちする食べ物を普段から買い置きしておきましょう。水・食糧の備えは、大地震が起きたときのためにも必要です。大地震が起きた直後は、外部からの支援が3日間届きませんので、3日間持ちこたえられる量を備蓄してください。

水 9ℓ×家族の人数

ひとり1日3リットルの飲料水が必要です

4人家族なら
9リットル×4人



食糧 普段食べているものでOK!

調理しなくても食べられるものをそろえてください

- レトルト食品 (おかゆ・雑炊・シチューなど)
- 缶詰・びん詰め食品



冷蔵庫やパントリーはいつもいっぱい！
普段から、多めに買い置き、古いものから消費して、使ったらまたすぐ買い足しておく。常に「新しい在庫」を家に置いておきましょう。

もう、準備していますよね？

非常用持ち出し袋

停電・断水時や、緊急の避難時に、すぐに使用したり、持ち出すことができるよう、備蓄品の一部や無いと困るものをリュックなどにまとめて、玄関周りに置いておきましょう。

- モバイルバッテリーと携帯電話用充電ケーブル
- 乾電池
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- ウェットティッシュ
- 簡易トイレ
- 笛・ホイッスル (助けを呼ぶため)



100円ショップやホームセンターでそろえるものばかりです！



両手が自由になるリュックがベストです！

- 無いと困るもの
- ※ 水を少しと軽い食糧
- ※ 赤ちゃんのミルク・おむつ
- ※ いつも飲んでいる薬
- ※ コンタクトレンズ (または予備のメガネ)
- ※ 生理用品 ※ ティッシュ
- ※ マスク ※ 体温計
- ※ 消毒用アルコール

いざ、箕面市の情報を入手してください！

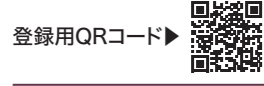
大雨が降り続いたら タッキー816で繰り返しお知らせします！

豪雨や台風の時、災害時の緊急情報を

市民安全LINE @minohcity



市民安全メール



市民安全ツイッター @Minoh_Anzen



市民安全メールの便利な活用法

市民安全メールは、知りたい種類の情報だけを受け取ることができます。

- ☑ 台風・豪雨時の避難など防災情報
- ☐ 詐欺被害や声かけ事案など防犯情報
- ☑ 落雷警戒情報
- ☐ Citizen Safety Alert Email (英語版の防災情報)

登録がお済みでないかたは、ぜひ登録してください。なお、既に登録しているかたは、お手数ですが登録を一旦解除して、再登録いただくと、受け取りの設定ができます。

箕面市では、市民に被害が及ぶような重大な災害が発生したときは、災害対策本部を設置し、災害時の緊急情報をタッキー816(FM81.6)で、繰り返し放送します。いざというときのために、持ち運びができるラジオを買っておいてください。スマートフォンなどで、タッキー816を受信できるものがあります。

避難などに関する市からのお知らせは…

タッキー816(FM81.6)、市民安全LINE、市民安全メール、市民安全ツイッター、市ホームページの緊急情報、防災スピーカー(公園などの大型スピーカー)から配信します。

防災スピーカーからの放送は、災害時における情報発信ツールの一つです。建物内にいるときは聞こえません。また、屋外にいても、雨風が強いときなど状況によっては聞こえないので、**タッキー816(FM81.6)**を聞いてください。

決して外出はしない！ 危険！ 豪雨や台風の際の田、用水路、ため池などの点検は大変危険です。

豪雨や台風の際、高齢のかたが行方不明になったというニュースをよく耳にしますが、その多くは、田、用水路、ため池など農業施設の点検のために外出したことが原因です。豪雨の日に用水路の詰まりを掃除していた高齢者が転落して亡くなるなど、全国で毎年のように事故が発生しています。自分で大丈夫だと思っても、決して外出はしないでください。

また、どうしても外出しようとするかたがいたら、ご家族で絶対に引き止めてください。万が一見に行かなくてはならない状況のときは、必ず複数の人で連れ立って行くようにしてください。



ご家庭では 次のチェックポイントを参考に できるだけ早く、大雨対策を行ってください！

家の周りの側溝に落ち葉やごみなどが詰まっていますか？

側溝にごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていると、水が流れずあふれ出し、冠水の原因になります。1カ所の詰まりが周囲の冠水を引き起こし、自分の家の周りだけでなく、地域全体に大きな被害をもたらします。

雨が降り出してからでは手遅れになります。家の周りの側溝をチェックして、ごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていたら必ず掃除をしてください！



土のう(土袋)の準備を！

玄関先など、浸水の恐れがある場合は、土のう(土袋)があると安心です。

ホームセンターには、水に浸すと膨れる薄型・軽量の土のうが販売されています。浸水を防ぐために必要となる土のうの数は、標準サイズ(縦60cm×横40cm)で、間口1m当たり5個以上がめやすです。



間口1m当たり5個以上がめやすです。



水に浸すだけだからとってもカンタン！